

第3期神川町総合戦略（概要版）

戦略の位置付け、期間

人口減少対策と地方創生に関する計画として、今後の5か年（令和7年度～令和11年度）の基本目標、基本的な方針、具体的施策等をまとめたものです。

町民意識の把握

令和6年7月から8月にかけて実施した町民アンケートの結果を踏まえ、本戦略を策定しました。

戦略の基本的な考え方

・地域に適した効果的な各施策を実施し、町の人口減少傾向に歯止めをかけることを目指します。

・国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」、県の「第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえた計画としています。

・Society5.0の実現に向け、DXを進めることによる社会課題の解決と生産性・利便性の向上、さらに、持続可能な開発目標（SDGs）が掲げる目標に向けた取組についても、本町の状況を踏まえながら推進に努めます。



基本目標1

町内における担い手の育成と安定した雇用の創出

基本的な方針

- (1) 農林業の担い手の育成・就農支援
- (2) 企業誘致等の推進による雇用の創出
- (3) 起業・創業支援等による町内商工業者の活性化

数値目標 認定新規就農者数 10人 新規企業立地数 5件

基本目標2

定住促進と町内に向けた新しい人の流れをつくる

基本的な方針

- (1) 定住・移住の促進
- (2) 地域における道路交通網の連携強化
- (3) 観光資源や地域資源を活用した観光客の誘致と関係人口の拡大

数値目標 「今後も神川町に住みたい」 85%

入込観光客数 72万人

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本的な方針

- (1) 結婚の希望をかなえる支援と新生活支援
- (2) 妊娠から出産への支援
- (3) 子育てしやすい環境の整備

数値目標 年間出生数 50人

基本目標4

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、暮らしやすいまちづくりを推進する

基本的な方針

- (1) 福祉と保健が充実した安心・安全な「住みよい」まちづくり
- (2) 町民のまちづくりへの参加と協働
- (3) 広域的な連携による行政運営の推進

数値目標 住みよさの満足度 80%

基本目標5

デジタル化の推進による町民の利便性の向上と便利で快適に暮らせる社会の実現

基本的な方針

- (1) デジタル技術を活用した行政サービスの向上と効率化
- (2) デジタルデバйд対策の推進

数値目標 電子申請・届出サービス利用件数 1,000件